

# 特定行為研修について

JCHOでは、地域医療の場で看護師が「治療」と「生活」の両面から患者様の状態に応じて、より迅速かつ適切な対応ができることを重点的に強化するために、2017年から看護師の特定行為にかかる研修を実施しています。当院は、協力施設として2018年より研修を実施しています。

協力施設

共通科目



講義と演習

250時間

放送大学によるオンライン授業

指定研修機関



共通科目の実習  
と区分別科目

講義



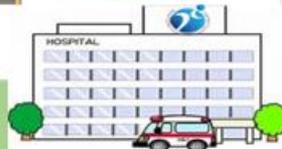
演習



実習



研修実施病院



自施設で研修

# JCHO横浜中央病院で実施する特定行為研修

11区分  
18行為

区分	特定行為
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	侵襲的陽圧換気の設定の変更
	非侵襲的陽圧換気の設定の変更
	人工呼吸管理がなされている者に対する鎮痛薬の投与量の調整
	人工呼吸器からの離脱
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	気管カニューレの交換
ろう孔管理関連	胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は胃ろうボタンの交換
	膀胱ろうカテーテルの交換
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	中心静脈カテーテルの抜去
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	末梢留置型中心静脈注射用カテーテルの挿入
創傷管理関連	褥瘡又は慢性創傷の治癒における血流のない壊死組織の除去
	創傷に対する陰圧閉鎖療法
動脈血液ガス分析関連	直接動脈穿刺法による採血
	橈骨動脈ラインの確保
透析管理関連	急性血液浄化療法における血液透析器又は血液透析濾過器の操作及び管理
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整
	脱水症状に対する輸液による補正
感染に係る薬剤投与関連	感染徴候がある者に対する薬剤の臨時的投与
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	インスリンの投与量の調整

# 特定行為研修 修了者と受講者

修了者数(区分別) 8区分延べ29名

受講者数(区分別) 5区分延べ8名

2024年5月現在

区分	修了者	受講者
呼吸器(人工呼吸療法に係るもの)関連		2名
呼吸器(長期呼吸療法に係るもの)関連	3名	
栄養に係るカテーテル管理(CV)関連	2名	1名
栄養に係るカテーテル管理(PICC)関連	3名	
創傷管理関連	4名	
動脈血液ガス分析関連		2名
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	7名	2名
感染に係る薬剤投与関連	5名	1名
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	4名	
創部ドレーン管理関連	1名	

# 特定行為研修修了者 『特定看護師』

2018年から施行している当院の特定行為研修修了者は8名となりました。研修修了後も、実践で研鑽を積み重ねています。現在の主な活動フィールドは病院ですが、今後は、患者様が住み慣れた地域で生活できるよう、在宅での支援も視野にいられています。

みなさまも一緒に活動しませんか？



修了者バッジ



『特定看護師』  
ストラップ

修了者8名 (8区分 延べ29名) 2024年5月時点

# 特定看護師の活動

『創傷管理関連』  
・陰圧閉鎖療法



『栄養に係るカテーテル管理』  
・PICC挿入



患者さまの生活に合わせた実践、チーム医療の推進により、質の高い医療・看護の実践に努めています